

土浦市 歴史の小径整備事業



小径をたどって
歴史再発見

事業概要

歴史の小径整備事業は土浦城址、まちかど蔵「大徳」「野村」、県指定の文化財である矢口家住宅等、亀城公園や旧水戸街道沿いの地区に点在する多くの歴史的資源の保全と活用、さらに商店街の活性化を図るため、これらを結ぶ道路の修景整備を行い、回遊性や界わい性を創出することにより、地域の活性化と快適な居住環境、町並み景観の向上を目標としています。

整備状況

平成13年度に裁判所前の通り（外丸通り）より整備を開始し、平成26年度に土浦小学校前の通り（たまき通り）の整備が完了したことにより総延長が約1.47kmとなりました。

住民参加による整備

当事業では、計画案を作る際にワークショップを開催し、地域住民のみなさんのご意見を取り入れながら、整備を進めてまいりました。



ワークショップの様子

表彰歴

- ・平成15年度 茨城県まちづくりグリーンリボン賞
- ・平成21年度 茨城県まちづくりグリーンリボン賞（2回目）
- ・平成22年度 国土交通省まち交大賞・まちづくり効果賞
- ・平成27年度 茨城県まちづくりグリーンリボン賞（3回目）
- ・平成28年度 まちづくり功労者国土交通大臣表彰



小江戸土浦の都市計画

土浦は桜川沿いの平地に造られた城下町で、土浦城を中核に町が形成されてきました。

土浦城は周囲にお堀をめぐらせ、本丸を中心に、二の丸、三の丸、外丸、多計郭が築かれ、本丸御殿、外丸御殿、会所など土浦藩の関連施設が造られました。

お城を囲むように、巽郭、西郭には上級藩士の武家地が配置され、さらにその周りに中下級藩士の武家地が広がっています。また、東側には南北に縦断する水戸街道沿いに町人の居住地が造られています。

地図を見ると、土浦の町は本丸を起点として「の」の字型に、お城、上級藩士の武家地、中下級藩士の武家地、町人地が配置されているのが見えます。

「の」の字型の都市構造は、江戸城を中心とした江戸の町と非常に近似しており、土浦はまさに小江戸と呼ぶにふさわしい町と言えるでしょう。

江戸時代の水戸街道
江戸時代の堀・水路
現在残っている堀・水路
現在残っている土塁
御用地
武家地
町寺・神社
中城町 江戸時代の旧町名
祇園町 大正以後に使用された旧町名

土浦市 都市産業部 都市計画課

土浦市大和町9番1号

029-826-1111 (代表)

<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page000549.html>